

平成 23 年 第 2 回 臨時

臨時教育委員会

開催日時 平成 23 年 8 月 3 日 (水) 午後 1 時 30 分開会

午後 3 時 00 分開会

開催場所 摂津市役所 本館 3 階 301 会議室

臨時委員会案件

議案番号	件名
57	平成 24 年度使用学校教育法附則第 9 条関係教科用図書、平成 24 年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書採択の件

出席者

委員長	新庄慶昭	教育次長兼	
委員長		次世代育成部長	馬場博
職務代理者	溝口重雄	教育総務部長	登阪弘
委員	大矢優子	生涯学習部長	宮部善隆
教育長	和島剛	次世代育成部次長	
		兼教育センター所長	前馬晋策
		総務課長	岩見賢一郎
		教育政策課長	若狭孝太郎
		教育推進課長	撰田裕美
		総務課長代理	安田信吾
		総務課総務係員	奥村有理

委員長

では、ただ今から第2回臨時教育委員会を開催いたします。本日の署名委員は溝口委員長職務代理です。よろしくお願いいたします。まず、各委員にご報告いたします。原田委員から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第5項に基づき、本日は欠席する旨の申し出がありましたのでご報告をいたします。

それでは、本日の議案審議に入るにあたり、私から今日までの協議会等における議論に基づき、平成24年度使用摂津市立中学校教科用図書等の採択に関して、これまでの経過を説明させていただきます。

摂津市教育委員会は、平成23年4月7日付、文部科学省初等中等教育局長通知「平成24年度使用教科書の採択について」、同日付、文部科学省初等中等教育局教科書課長通知「平成24年度使用教科書の採択事務処理について」、及び平成23年4月21日付、大阪府教育委員会教育長通知「義務教育諸学校における平成24年度使用教科用図書の採択について」に基づき、採択の公正確保と静ひつな採択環境の確保に十分留意し、専門的な調査研究活動を行うために、「平成24年度使用学校教育法附則第9条関係図書の選定に関する事項並びに平成24年度使用摂津市立中学校教科用図書の選定に関する事項」について、4月25日、平成23年度摂津市立中学校教科用図書選定委員会に対して諮問を行いました。

その後、選定委員会では調査員を置き、調査員が作成した調査研究報告書に基づき教科書選定に関する協議を重ねられ、去る7月13日開催の臨時教育委員会において選定委員会より、答申をお受けいたしました。答申では、附則第9条関係教科用図書については必要に応じて適正に採択することが望ましいという内容でございました。各種目については、どの発行者の教科用図書も学習指導要領の趣旨に基づいて編集されており、文部科学省の検定に合格した教科用図書として、十分に基準を満たしたものであることを前提とし、全発行者の優れた点と各種目・分野について複数者の採択候補を選定したことについて、報告を受けました。教育委員会では、答申を受けた後、見本本が届けられた全種目・全分野の全発行者の教科用図書を準備して、教科用図書採択に関しての臨時教育委員会協議会を開催いたしました。

答申で取り上げられていた点について、実際にすべての教科用図書に目を通し、協議を行いました。また、資料提供された調査研究報告書や、さらには学校意見書、教育研究会意見書や教科書見本本展示会において寄せられた意見も参考とさせていただき、疑問点に

についての質疑も行いました。

その結果、答申に述べられているとおり、どの発行者の教科用図書も文部科学省の検定に合格した優れたものであり、これらの教科用図書の中から本市の生徒にとって、よりよいものを採択するということについて確認いたしました。

そして、選定委員会からの答申の趣旨を尊重し、また、大阪府の選定資料や前述の調査研究報告書の内容を踏まえ、本市の中学校で平成 24 年度に使用する教科用図書の採択について、各種目・分野で、全発行者の中から一つを選ぶための協議を行いました。

7 月 20 日にも教育委員会協議会を開催し、本市の生徒にとってよりよいものを選ぶという観点で、さらに協議をいたしました。

なお、平成 24 年度使用学校教育法附則第 9 条関係教科用図書については、今のところ採択の必要についての報告はございませんが、学校教育法附則第 9 条関係教科用図書については、毎年採択できるということであり、児童・生徒の障害や発達の状況を勘案して、今後も必要に応じて適正に採択を行うことについて確認いたしました。

それでは、以下、各種目・分野の協議内容を申し上げます。

なお、一委員より、東京書籍の保健体育教科書の著作関係者に入っているため、保健体育の他、東京書籍が選定委員会から採択候補としてあがっている種目・分野については、意見を差し控えたいとの申し出がありました。

国語

国語に関しては、東京書籍・学校図書・三省堂・教育出版・光村図書の 5 者から見本本が届きました。

各者に目を通したところ、各者とも伝統的な言語文化に触れる教材は、それぞれの生徒の発達段階に即して、適切に取り扱われておりました。

選定委員会からは、東京書籍・光村図書が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった 2 者について意見交換を行いました。

東京書籍の特徴として、「領域別学習材一覧」や「三年間で学ぶ『言葉の力』項目一覧」で、それぞれの教材の学習課題や目標を明示していることがあげられます。また、作品の脚注の新出漢字のまとめ方に工夫があり、作品を読みながら確認することができます。

光村図書は、各単元で学習目標を設定し、目標に合わせて各領域が関連付けられていることや発達段階に応じた 4 領域の提示の仕方

において工夫が見られました。古典教材では、学習した内容を現代の作家の文章で読み味わうように配置することにより、古典に親しむ態度が育成されることが、他者と比較して優れているという声もありました。また、多様な話し合いの方法が提示され、日常生活に活用できる工夫がなされておりました。さらに、小学校が光村図書であることから、小学校とのつながりの中で系統性を持って力をつけることができることもあげられました。

書写

書写に関しては、東京書籍・大日本図書・学校図書・三省堂・教育出版・光村図書の6者から見本本が届きました。

全発行者とも書写の能力を日常生活に役立てる態度が養われるような配慮がなされておりました。

選定委員会からは、東京書籍・光村図書が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった2者について意見交換を行いました。

東京書籍は、教科書の横幅が大きく、手本が半紙のそのままのサイズでわかりやすくなっておりました。また、効果的に書くためのポイントが明示され、実際のノート例と比較して学べるように工夫されておりました。

光村図書は、1年から3年までの内容を一冊にまとめ、見通しを持って取り組むことができ、既習事項の確認もできるよう工夫されておりました。また、学習要素を焦点化し、1ページもしくは見開き単位で学習が完結し、実態に合わせた効果的な指導ができるよう工夫されておりました。生徒会活動の案内や修学旅行の新聞づくりなどが取り上げられたり、資料として、願書の書き方や付箋の活用法など、日常生活に密着した題材が豊富で、他者と比較して優れているとの意見が出ました。

社会・地理的分野

社会・地理的分野に関しては、東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版の4者から見本本が届きました。

全発行者とも、人権上の配慮等が十分に行われておりました。

選定委員会からは教育出版・日本文教出版が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった2者について意見交換を行いました。

教育出版は、人権についてより配慮されており、多様な文化への理解と尊重、寛容を育み、人権意識を養う配慮が充実していると高く評価する意見が出ました。また、「トライ」や「読み解こう」の

コーナーなど、学習を広げたり深めたりする項目があり、段階的な学習活動を通して学力の着実な向上が図られるような工夫や、各編第1章に、直接書き込む作業活動を取り入れたり、章・節末の「学習のまとめと表現」のページでは、言語活動に取り組む際の視点や方法が、具体的に例示されるなどの工夫がなされておりました。

日本文教出版は見やすい写真や絵や表、グラフが掲載されており、親しみやすい構成となっておりました。また、見開き2ページごとに学習課題が掲載されており、その時間のテーマが理解しやすいような工夫がなされておりました。

社会・歴史的分野

社会・歴史的分野に関しては、東京書籍・教育出版・清水書院・帝国書院・日本文教出版・自由社・育鵬社の7者から見本本が届きました。

全発行者とも歴史的事象に対する関心を高める工夫がなされておりました。

選定委員会からは教育出版・帝国書院・日本文教出版が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった3者について意見交換を行いました。

教育出版は見やすい写真や絵などで、親しみやすい構成となっておりました。また、見開き2ページごとに学習課題が掲載されており、その時間のテーマが理解しやすいような工夫がなされておりました。

帝国書院は、民衆の立場を重視し、当時の様子がわかるような資料を載せるなど、様々な立場の視点を取り入れられておりました。また、印刷が鮮明で、彩度の高い写真を多用する工夫も見られました。

日本文教出版は写真や資料が多く、また、章の導入などにおいて見開きのページが設けられ、写真も大きく、生徒の興味・関心をひくものとなっており、他者と比較して優れているとの意見が出ました。理解を深めるために、「とらえよう！時代の転換」では、グラフや図も使用し、理解を深めるための生徒の学習に役立つような工夫がなされておりました。さらに、大阪や近畿を多く取り上げており、生徒にとっては身近で興味深いものとなっております。

また、選定委員会からの候補にはあがっておりませんが、教育基本法等の改正に照らし合わせ、日本の伝統文化や歴史上の人物についての記述が詳しいため、育鵬社がよいのではとの意見もあがりました。

しかし、選定委員会からの候補の3者の方が、いずれも、学ぶ意

欲や主体的に学習する資質や能力を育む工夫がなされているという意見が多く、特に、日本文教出版については、学習したことを活用しながら、生徒が考え、判断し、表現することを重視していると高く評価する意見が出ました。

社会・公民的分野

社会・公民的分野に関しては、東京書籍・教育出版・清水書院・帝国書院・日本文教出版・自由社・育鵬社の7者から見本本が届きました。

全発行者とも政治や経済についての見方や考え方が養えるような工夫がなされておりました。

選定委員会からは教育出版・帝国書院・日本文教出版が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった3者について意見交換を行いました。

教育出版は記述量を充実させ、学習内容を詳しく丁寧に扱うことにより、基礎的・基本的な事項の確実な習得が図られるように配慮されており、他者と比較して優れているとの意見が出ました。また、領域ごとに「さらに学習を深めよう」というページが設けられ、それまでに学習したことを活用して考察を深める活動が取り入れられておりました。「読み解こう」では、地図やグラフ、図解などの資料を読み取って考察する学習が重視されておりました。

帝国書院は全体的にバランスよく、「現代社会」「政治」「経済」「国際関係」「よりよい社会」について網羅されておりました。

日本文教出版は各編の導入に学習のねらいを定め、意欲を持って学習に取り組むことができるよう、「ナビ」が設けられるなどの工夫がなされておりました。

また、外国人参政権や自衛隊の位置付け、領土問題の記述という観点から見ると、詳しく丁寧に記述されている育鵬社が優れているとの意見があがりました。

しかし、選定委員会からの候補の3者の方が、組織・配列のバランスもよく、主体的に学習するという観点から見れば、調べ学習や発展学習につながる項目について充実しているという意見が多く、特に、教育出版は、考察する学習活動が重視されており、他者と比較して高く評価するとの意見が出ました。

地図

地図に関しては東京書籍・帝国書院の2者から見本本が届きました。

2者とも諸地域の地域的な特色をとらえる工夫がなされておりました。

した。

選定委員会からは東京書籍が候補としてあがっていましたが、2者について再度見直しを行いました。

東京書籍は2部構成になっており、1部で世界と日本の基礎資料を扱い、2部で発展的に学習できる内容を扱い、段階的な学習を進める工夫がなされておりました。グラフや資料も多く、「チャレンジ」では、地図・資料をもとにした学習の過程を示し、生徒の自学自習につながる工夫もなされておりました。

帝国書院は、世界の各地域と日本との結びつきが理解しやすい構成となっておりました。平面地図だけでなく、鳥瞰図を多く掲載することで、興味・関心を高める工夫がなされておりました。「地図を見る目」や「やってみよう」では、生徒の思考力や表現力を高める工夫がなされておりました。

東京書籍はグラフや資料も多く、段階的な学習を進める工夫もなされておりましたが、帝国書院の方が、図版が大きくわかりやすく、色彩もよく、生徒が調べやすいのではないかと、また、社会のすべての分野において地図として役立つのではないかと意見が出ました。

数学

数学に関しては、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館・数研出版・日本文教出版の7者の見本本が届きました。

全発行者とも、基礎的・基本的な事項の理解や習得のための工夫がなされておりました。

選定委員会からは東京書籍・数研出版・日本文教出版が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった3者について意見交換を行いました。

東京書籍は数学的な好奇心や数学への興味・関心を高めるための組織・配列や学習活動が有効に進められるような内容の系統性についても工夫が見られると、高く評価されておりました。巻末課題編での発展的な学習は、自学自習を促すものとなっており、他者に比べて優れているという意見も出ました。各学年の1章末の「マイノート」は、ノートの見やすさを重点に、工夫された教材でありました。

また、小学校の採択の際、9年間を見通した算数・数学の授業研究が重要であることを実感しておりましたので、小学校が東京書籍であることから、小中学校が系統性を持って取り組むことができるという意見も出ました。

数研出版は例題が多くわかりやすく、また、問題量も十分あり、生徒の実態に応じて取り組めるような工夫がなされておりました。

日本文教出版は見やすく、組織・配列において生徒が取り組みやすい工夫がなされておりました。また、章末に理解度に応じた問題が用意されるなどの工夫がみられました。

理科

理科に関しては、東京書籍・大日本図書・学校図書・教育出版・啓林館の5者の見本本が届きました。

全発行者とも科学的に探究する基礎能力を育む配慮がなされておりました。

選定委員会からは、大日本図書・啓林館が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった2者について意見交換を行いました。

大日本図書は「暮らしの中の理科」や「トピック」が豊富で、興味深いものや発展的な内容が多く、生徒の興味・関心をひく工夫がなされておりました。

啓林館は、実験方法の大まかな流れが最初に示され、わかりやすく具体的な手順も示されるなどの工夫がなされており、安全性への配慮についての内容も十分取り扱われておりました。別冊の「マイノート」は、各単元の問題や「基本のチェック」「力だめし」がまとめられており、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されており、書き込みもできるので、他者よりも優れているという意見も出ました。また、資料や写真について淀川など、身近な大阪や近畿圏のものが多く採用されていることから、より生徒の興味・関心を高めるものとなるのではないかとの声が出ておりました。

音楽・一般

音楽・一般に関しては、教育出版・教育芸術社の2者の見本本が届きました。

2者とも音楽の基礎的な表現の技能を身に付ける工夫がなされておりました。

選定委員会からは、教育芸術社が候補としてあがっておりましたが、2者とも再度見直しを行いました。

教育出版は新しい曲を取り上げており、選択の幅が広がり、興味・関心をひく工夫がなされておりました。

教育芸術社は慣れ親しんだ曲が多く、親しみやすいという意見が出ました。また、学習内容についての目標が記号で表され、目次のページにまとめられており、高く評価されておりました。また、鑑

賞の領域では、感想を発表するだけでなく、話し合い活動を取り入れ、作品の良さや特徴をとらえ、他に伝えるようなプレゼンテーションの形をとり、互いに学び合い、主体的に学習することができ、優れているという意見が出ました。

音楽・器楽

音楽・器楽に関しては、教育出版・教育芸術社の2者の見本本が届きました。

2者とも楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を身に付けるための工夫がなされておりました。

選定委員会からは、教育出版が候補としてあがっておりましたが、2者とも再度見直しを行いました。

教育出版は、色彩がやさしく、ページ配色も工夫されておりました。アンサンブル活動では、箏とリコーダーを合わせる活動が提示されており、高く評価されておりました。また、基礎的な内容から応用的な内容まで幅広く扱われており、生徒の実態に応じた活動ができるという意見も出ました。

教育芸術社は、イラストや写真で具体的な活動や学習のねらいを提示し、学習内容がわかりやすい工夫がなされておりました。

美術

美術に関しては、開隆堂・光村図書・日本文教出版の3者の見本本が届きました。

全発行者とも美術文化に対する関心を高める工夫がなされておりました。

選定委員会からは、開隆堂・光村図書が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった2者について意見交換を行いました。

開隆堂は作品数が多く、様々な作品に触れることができるという意見が出ました。また、鮮明な大型図版の掲載が作品鑑賞において効果的でありました。

光村図書は見開きページを活用し、大型図版を掲載することで、生徒の興味・関心をひき、また、作品のすばらしさをより実感することができ、他者より優れていると高く評価されておりました。また、制作での話し合いや発表、コメントなど、言語活動を取り入れる工夫がなされておりました。また、注意事項や道徳との関連などをマークで表示するなどの工夫が見られました。

保健体育

保健体育に関しましては、東京書籍・大日本図書・大修館図書・

学研教育みらいの4者の見本本が届きました。

全発行者とも、健康や安全について理解するための配慮がなされておりました。

選定委員会からは、東京書籍・学研教育みらいが候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった2者について意見交換を行いました。

東京書籍は「各単元の目標」「動機づけ」「本文」「資料」「まとめ」と授業の流れがわかりやすく配置され、見通しを持って取り組むことができ、他者と比べて優れているという意見が出ました。組織・配列のバランスもよく、系統性も考えられたものとなっております。また、心肺蘇生法の行い方について、写真・資料が用いられイメージしやすく、AEDの使い方について、他者より詳しく、わかりやすく記述されており、高く評価する意見が出ました。

学研教育みらいは今日的な健康課題が積極的に取りあげられておりました。また、テーピングの巻き方が詳しく表記されており、生活に生かせるという意見も出ました。

なお、東京書籍については、公正な採択を行うため、除外すべきではとの意見がありましたが、公正・公平な採択に影響は受けていないとの意見もあり、除外せずに協議を行いました。

技術・家庭／技術分野

技術・家庭／技術分野に関しましては、東京書籍・教育図書・開隆堂の3者の見本本が届きました。

全発行者とも、工具や機器の扱い方等についての配慮がなされておりました。

選定委員会からは、東京書籍と開隆堂が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった2者について意見交換を行いました。

東京書籍は実習時の安全面での注意が必要な個所では、「安全マーク」を用い、それぞれの作業に対応した注意点が記述されており、他者に比べて優れているという意見が出ました。作業の写真や補足説明などが学習内容ごとに整理されており、また、資料も充実しておりました。

開隆堂はものづくりの分野において、制作の過程がわかりやすいように表示が工夫されておりました。

技術・家庭／家庭分野

技術・家庭／家庭分野に関しましては、東京書籍・教育図書・開隆堂の3者の見本本が届きました。

全発行者とも、基礎・基本に関わる説明への配慮がなされておりました。

選定委員会からは、東京書籍と開隆堂が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった2者について意見交換を行いました。

東京書籍は学習内容が生徒の関心が高い食生活から始まることで、学習意欲の向上につながることができ、他者より優れているという意見が出ました。また、調理における食材の切り方の過程を詳しく表記するなど、実生活に生かすことができるように工夫がなされておりました。

開隆堂は最近のトピックスが掲載されており、生徒の興味・関心をひく工夫がなされておりました。

英語

英語に関しましては、東京書籍・開隆堂・学校図書・三省堂・教育出版・光村図書の6者の見本本が届きました。

全発行者とも、コミュニケーション能力の基礎を養うための工夫がなされておりました。

選定委員会からは、東京書籍と開隆堂と教育出版が候補としてあがっておりましたので、特に、候補にあがった3者について意見交換を行いました。

東京書籍は小学校外国語活動とのつながりが意識され、小学校で慣れ親しんだ簡単な数字や色などが1年当初に取り上げられており、親しみやすいという意見が出ました。

開隆堂は日本の文化についての記載や広く世界の諸国についての取扱いもあり、多様なものの見方を身に付けることができるという意見が出ました。

教育出版は小学校外国語活動とのつながりが意識され、音声の復習から文字の導入へと展開されており、小学校外国語活動からのスムーズな移行ができるような工夫が他者より優れているという意見が出ました。「Lesson」では、学校生活に即した内容を取り扱い、身近な出来事で興味・関心をひく工夫がなされておりました。また、内容が豊富で、多くの英語に慣れ親しむことができるという意見が出ました。

過去2回の協議会で出ました審議内容・意見について私の方からご報告させていただきました。ただいまの報告内容につきまして、追加・補足等のご意見はございませんでしょうか。

委員長職務代理者

私は平成 16 年以来教育委員を拝命し、6 年目に入っておるわけですが、今日ほど傍聴者がたくさんお見えになっていることは初めてでございます。これは、教科書に対する関心がいかに高いかということであろうとも思います。同時に子ども達の学習環境の厳しき、こういったことが影響しておるのではないかと思います。もちろん、教科書会社の方もあるいはおられるのかもしれませんが、いずれにいたしましても教科書を巡っての色々な議論、私たちも協議会を通じて行ってきました。しかし、我々が最終的に答申をもって選ぶわけですが、その前に委員長から縷々説明があったように要は国の入った検定作業、府の選定作業、本市におきましても選定委員会を通じて今日の協議会を含めて 3 回重ねてきたわけでございます。今、報告があったように結論としては各教科にわたって、A 者 B 者を採択すると、この決定についてはなんの異議もございません。ただ、振り返ってみて非常に残念なことがありました。今日の前田委員の欠席、その欠席しなければならない理由、これは、事務局から法的な文書をそのまま言われましたけれども、なんの事かという方が多いと思います。いわゆる、教科書採択については公正で適正な採択をしなければならない、ということが当然の要請でございます。この要請は、各教科書会社にわたっての、研修会を持つとかそのようなことに教科書関係者出席はしてはならないという通達がこの作業の 1 回目 4 月 20 日に我々委員に示されたわけがあります。しかし、その時には情報として私たちは全く分からなかったわけでありまして。そして、2 回目 3 回目と協議を重ねるうちに東京書籍とのリレーションを持っていると、その内容はこうこうであると、そして最終当日の今日のこの決定にあたっていわゆる、地教行法の 13 条規定に基づきまして欠格者といいますが、当然出席してはならない者として欠席をされたのです。私としては、これは非常に残念な出来事でございます。しかし、これを取り返すわけにもいかないのです、従って委員長が言われたように、結果だけ言えば、あのようになった次第でございます。このことを補足しておかなければなりません。このようなことを説明しなければ、開かれた行政、開かれた委員会にならないであろうということです。

委員長

どうも貴重なご意見ありがとうございます。他に何か質問等がございますか。

大矢委員

たくさんの教科書を見せていただきまして、選定委員の方もおっ

しゃっていただいたとおり、どの教科書も素晴らしく、どれも大変選ぶのが難しかったということと言いたかったです。

教育長

ただ1点だけ言っておきたいのは、先ほど委員長の方からもありましたがご本人自ら教科書に関しての意見は一切差し控えたいということで、この協議会において意見は出されておられません。何が言いたいかといいますと、公正な判断には影響は受けていないということです。公正な中で協議は進められてきたということです。危惧されている気持ちはわかりますが、協議会の中での影響はなかったということだけお伝えしておきます。

委員長

他に何か質問等はございますか。では意見が出尽くしたようですので、議案審議にうつります。これまでの協議を踏まえ、事務局に採択案の作成をお願いいたします。作成いたしますまで15分前後の休憩をとります。

《暫時休憩》

委員長

再開いたします。

議案第57号「平成24年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書、平成24年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書の採択の件」を上程します。教育推進課長から説明をお願いいたします。

教育推進課長

議案第57号「平成24年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書、平成24年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書の採択の件」について、別紙の通り採択したいので、承認を求めるものでございます。

【以下、教科書採択（案）により説明あり】

委員長

何か質問等はございますか。無いようでしたら、議案第57号「平成24年度使用学校教育法附則9条関係教科用図書、平成24年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書の採択の件」について原案どおり承認いたします。

教育推進課長

今後の情報公開について確認をいたします。教科用図書採択事務に関することについては一定期間、具体的には文部科学省の示す採

択期間であり、本市選定委員会規程による選定委員会を置く期間でもある 8 月 31 日まで非公開ということで進めてまいりましたが、本日の採択に係る審議を公開といたしましたので、採択結果のみ直ちに公開し、議事録等については整えた上で、9 月 1 日以降に公開したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員長

異議はございますか。

全委員

異議なし。

委員長

異議なしという事ですので、そのようにお願いいたします。これで平成 23 年第 2 回臨時教育委員会を終了いたします。ご苦労様でした。